

ほけんだより 9月

令和7年9月9日（火）
秩父市立大田中学校
救急救命号

大田中学校にもAEDを設置しています。皆さんは、どこに設置してあるか知っていますか？

設置場所は、「職員室」と「体育館(階段を上ったところ)」の2か所です。
いつ、どこで、誰が倒れるかはわかりません。自分が現場に居合わせることもあるでしょう。



もしもの時は、大人の助けを求めるのはもちろん、AEDを迷わず使いましょう。胸骨圧迫とAEDを絶え間なく行うためには、「協力者」の存在が必要不可欠です。**自分だけで何とかしようとせずに、できる限り多くの人を集めて、協力して心肺蘇生を行いましょう。**

AEDは誰が使ってもOKです。倒れている人を見つけたら思い出してください。あなたの勇気が、人の命を救います！

★ AEDは難しい？

電源を入れると、音声メッセージが流れます。音声に従えば安全に使用することができます。

☆ AEDはどんな時に使う？

意識がないとき、呼吸の様子がおかしいときに使います。

★ AEDが必要ない時に使った場合はどうなる？

必要ない時は、「電気ショックは必要ありません」というメッセージがあり、電気は流れないので安心してください。

重要! AEDの使い方



臓が止まった人に何もしなかった場合と比べて、**胸骨圧迫（心臓マッサージ）**をした場合、命を助けられる確率が2倍近く高くなります。さらにAEDを使用した場合は、約半数の人を救えるという調査結果が出ています。AEDの使い方を知っておきましょう。

① 電源を入れる

（ふたを開けただけで電源が入るものもあります）

② 電極パッドを胸に貼る

③ 心電図の解析を待つ

（電極パッドを貼ると自動的に始まります）

④ 電気ショック

- 電気ショックの指示が出たら近くに人がいないことを確認し電気ショックのボタンを押す（自動で行うAEDもあります）。ショック後すぐに胸骨圧迫を再開する
- 電気ショックが不要の場合、胸骨圧迫を再開する

⑤ 胸骨圧迫とAEDをくり返す

（2分ごとに電気ショックが必要かどうか自動で解析します）

